

本物の音楽と、あふれる光の中から生まれるコンサート

親子で楽しむコンサート &

影絵劇団かしの樹

音楽影絵劇

「100万回生きたねこ」



- 原 作: 佐野洋子 (講談社刊)
- 影絵・演出: 鷹股良至
- 音 楽: 富沢 恵
- 影絵操作: 影絵劇団かしの樹

第1部 ピアノ、ヴァイオリン、チェロによる 小さな楽しいコンサート

第2部 生演奏でおくる影絵劇「100万回生きたねこ」

平成27年 11月28日(土)

きゅりあん 8F 大ホール
(JR大井町駅前)

●開場 14:00 開演 14:30

●料金(全席指定)

一般2,000円 / 小学生以下 1,000円

平成27年8月7日(金)チケット発売開始

販売窓口

- 9:00 ~ きゅりあん(JR大井町駅前)
スクエア荏原(東急目黒線武蔵小山駅徒歩10分)
メイプルカルチャーセンター(JR西大井駅前)
- 10:00 ~ O美術館(JR大崎駅前) 発売初日は9:00~
しながわ観光協会(大井一丁目共同ビル1F)

電話予約

- 9:00 ~ チケットセンター CURIA(キュリア)
☎03-5479-4140 発売初日は10:00~

インターネット予約 24時間受付

- (公財)品川文化振興事業団ホームページ
<http://www.shinagawa-culture.or.jp> 発売初日は9:00~

※電話予約では座席をお選びいただけません。※4歳以上のお子様から入場できます。
※託児はありません。

主 催

品川文化振興事業団

企画・制作

影絵劇団かしの樹

問い合わせ

チケットセンターCURIA(キュリア) ☎03-5479-4140

品川文化振興事業団 Twitter

@shinagawacultur

<https://twitter.com/shinagawacultur>



親子で楽しむコンサート&

影絵劇団かしの樹
音楽影絵劇

「100万回生きたねこ」



プログラム

第1部

ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる 小さな楽しいコンサート

音楽と影絵がこんなに仲が良かったとは！
美しいクラシック音楽や、こどもたちのよく知っている楽しい
メロディと一緒に、スクリーンの中の影絵が生き生きと写り
変わります。

第2部

ピアノ・ヴァイオリン・チェロの生演奏でおくる音楽影絵劇「100万回生きたねこ」

100万回も死んで100万回も生きたねこがいました。
ねこは自分が大好きでした。そして、どんな飼い主も大嫌いでした。
あるときねこは、だれのねこでもありませんでした。そして、一匹の白いねこに出逢うのです。
あの感動的な物語「100万回生きたねこ」を、幻想的な影絵と、情緒あふれる生演奏で描く、こどもたち
のための音楽影絵劇です。

影絵劇団かしの樹 プロフィール

劇団かしの樹は1982年8月の劇団発足以来、古今東西の童話
や昔話をはじめ、さまざまなジャンルの物語を美しい影絵として劇
化し、全国各地の小・中学校の学校巡回公演を中心に活動を行っ
ています。技術の進歩が激しい今日、ともすればなおざりになる
“心”の問題。幼児からの情操教育が今日ほど大きな意義を持つて
いる時代はないといっても過言ではないでしょう。

生の影絵の持つ透明な美しさと、名作と言われる物語の数々
は、刺激の強いものに囲まれた現代のこどもたちにも、新鮮な
感動と、豊かな想像力をはぐくんでもらえるのではないかと考え
活動しています。



生語りの 魅力

人の生の言葉には、相手の心をおだやかにしたり、また逆に高揚させたりする力があります。
影絵劇団かしの樹の語り手「弁士」は、すべての登場人物の声を表現し、芝居の「間」まですべ
てに命を吹き込んでゆきます。

人と人の交流がだんだんと少なくなっている現代、「弁士」の人間味あるあたたかい語りは、
素直にこどもたちの心にしみ込んでいくことでしょう。

できるだけ人のあたたかさを伝えたい。できるだけ近くで伝えたい。そのことが、こどもと舞
台をつくることにつながってゆくことだと考えて、公演を続けています。

(影絵劇団かしの樹)

